

## ◆事業計画◆

### I 教育・研究の重点目標並びに達成のための事業計画

#### 【ノートルダム清心女子大学】

##### ○建学の精神および教育方針の明確化

前年に引き続き、教職員に建学の精神が浸透するよう、また同時に学生にその精神が深まるように努める

##### ○生涯学習拠点の整備

清心フェリーチェの事業展開をさらに充実させ、卒業生、広く地域の人々に教育貢献を果たすとともに、在学生の正課外学習の場としての充実もはかる

##### ○学生の確保の強化と広報活動の重点化

積極的で有効な広報活動を行う。そのためには情報公開を積極的に行い、教育理念と特色を社会に周知することに務める。

##### ○学生のキャンパスライフの支援

建学の精神に基づき、人々に奉仕し、人々と協働して社会貢献に努める指導的な学生の育成を目指す。特に保育職、教職につく学生に対する支援の強化、キャリアサポートセンターの機能を充実させ、学生の就職支援体制を強化する。

##### ○自己点検・自己評価の進展

教育システムの不断の改善を行う。建学の精神、大学設置基準、社会のニーズ等の観点から本学の教育システムを常に点検評価し、建学の精神、大学設置基準、社会のニーズ等の観点から、「内部質保証」の体制を確立する。

#### 【清心中学校・清心女子高等学校】

##### ○建学の精神にあふれる環境作り

教員間への浸透のため「祈りの集い」を継続して行う。また、生徒には奉仕の精神を浸透するため、ボランティア活動を推進する。

##### ○グローバル人材の育成

GLIL「内容言語統合型学習」の開発を進める。また、国際理解教育のため、グローバル教育センターを設置する。

今年11月、岡山市で開催される「ユネスコ・スクール世界大会」へ参加する。

##### ○進学実績の向上

教員の指導力向上を図り、放課後学習を実施する。

##### ○SSH（スーパーサイエンスハイスクール）事業《第2期4年目》

次代の科学技術を担う女性研究者としての基盤育成を目指した教育モデルの構築と成果普及・地域連携の強化による科学技術分野における男女共同参画の推進を図る。

##### ○生徒募集の広報活動計画

小・中学生対象のスピーチコンテストの開催、同窓会と連携した英会話教室（English Hills）を継続して行う。

##### ○生徒指導の充実

基本的な生活習慣を身につけるよう指導する。

### 【ノートルダム清心中・高等学校】

○カトリック学校として、建学の精神をすべての教育活動の基本に置き、全人教育を目指した教育活動の充実

教職員全員がカトリック学校の使命を自覚できるような研修活動を行う。また、宗教行事の工夫、充実を図る。

○校訓「心を清くし愛の人であれ」の教えを日々の生活、ボランティア活動の体験を通して、より自己の生き方に活かさせ、社会の中で本当に必要とされる人材を育成

○生徒が学ぶ喜び、充実感を持ち、学校に通うことに誇りを持つことができるための教育実践等の探求と、将来を見つめた本校教育のあり方の研究

教師の生徒指導、学級経営などの実践的な指導力、教科指導に関する専門的知識、指導力についての技術習得を図り、各自が自己の授業における課題を認識し、改善に努められるような態勢づくりをする。

○新講堂等建設計画の具体的推進 建設委員会でより具体化していく。

○広報活動、ホームページの充実

地域に学校を紹介する機会、生徒の活動を見てもらう機会を積極的に設けていく。

### 【ノートルダム清心女子大学附属小学校】

○マナーの向上と豊かな心の育成

察する心を育成、やり抜く力を育成する。

○児童の学力向上

個人差への対応の工夫、英語力の充実を図る。

○教職員の指導力の向上

個々の能力のアップ、集団としての向上、将来に続く人材の育成を行う。

○発展につながる変化への対応

食育の視点を取り入れた選択制の給食弁当の導入、放課後活動をより充実させる、学生・保護者ボランティアとの連携場を増やす。

### 【ノートルダム清心女子大学附属幼稚園】

○「心の教育」の推進

教職員の宗教研修の実施、園内研究「本園における宗教教育の在り方を考える」をプロジェクトチームが中心になって推進する。

○モンテッソーリ教育の更なる充実

モンテッソーリ教育研修会への参加、教育の基づく補助教材を設定する。

○子育て支援の強化

保護者へ園通信、宗教通信、モンテッソーリ通信を配布し、連携を図る。

就園前保育、預かり保育の充実、メール配信システムの改善

## II 国際交流の促進

### 【ノートルダム清心女子大学】

・14の留学協定大学へ学部生を派遣

・協定大学からからの学生の受け入れ（天主教輔仁大学、静宜大学、大連外国語大学）

### **【清心女子高等学校】**

- ・海外研修の受け入れ（5月末 カリフォルニア ノートルダム高校）
- ・ユネスコ・スクール世界大会（岡山市）へ参加

## **Ⅲ 生涯学習の推進プラン**

### **【ノートルダム清心女子大学】**

- ・生涯学習センター（NDSU Continuing Education Center）講座
  - ①特別講演（曾野綾子・渡辺和子）
  - ②聖書講座
  - ③文化講座
  - ④実技講座（デッサン・ダンス）
  - ⑤キャリア養成講座（教育講座・語学講座・手話講座・就活力養成講座）
- ・高大連携講座  
清心女子高校との間で、「女性」「ハイレベル英語講座」を実施。

## **Ⅳ 主な施設設備計画**

### **【ノートルダム清心女子大学】**

- ・ノートルダムホール西棟耐震補強工事
- ・ノートルダムホール本館の屋根周辺防水工事・外壁改修工事
- ・テレジア館の改築工事
- ・附属図書館エレベーター設置工事
- ・ザビエル館の改修工事
- ・食品栄養学科の教育施設設備の充実整備工事
- ・学内施設診断未了建物の耐震診断及び必要となる耐震補強工事
- ・キャリアサポートセンターの移設工事
- ・ジュリーホールの改修工事
- ・教学システムのバージョンアップ
- ・高濃度 PCB 廃棄処理
- ・電源トランスの更新
- ・一宮校舎の外部改修工事
- ・ノートルダムホール東棟の屋上防水工事

### **【ノートルダム清心中・高等学校】**

- ・中学校校舎・高校校舎ボイラー設備配管更新工事
- ・講堂等建設工事
- ・クビリーホール屋内消火ポンプ取替工事
- ・教職員パソコン整備及びMM教室パソコン追加整備

### **【ノートルダム清心女子大学附属幼稚園】**

- ・あやめ組床の改修

## ◇予算書について◇

平成 26 年度収支予算は、収入の部では学生生徒等納付金収入や補助金収入など、ほとんどの科目で減額を見込んでいるが、倉敷高の減価償却引当特定資産の取崩、及び広島中・高が講堂等の建築資金として特定資産を取崩すこともあり、当年度の資金収入合計は前年度予算比 3 億 8,300 万円増の 53 億 6,500 万円となっている。

一方支出の部では、各校園の教育の充実、グローバル人材の育成、学生・生徒等の募集や広報の強化、教育環境の充実のための経費等を計上している。

大学では、キャリアサポートセンターの機能を充実させ、学生の就職支援体制の強化、生涯学習センターの充実、学生の安心・安全のため、診断未了建物の耐震診断を実施する予定である。また、工事の着工が遅れている、広島中・高の講堂等建設工事関係の大きい経費を組み込んでいる。

4 月からの消費税値上げも勘案した結果、当年度の資金支出合計は前年度並みの 55 億 4,700 万円を計上、資金収支差額は△1 億 8,200 万円となっている。

繰越金を含んだ予算の規模は 68 億 7,800 万円で、前年度予算比 2.5%減（前年度当初予算比 1.8%減）となっている。